

事 務 連 絡
令和 6 年 8 月 吉日

近畿ブロック HIV 感染症医療に携わるカウンセラー・心理職各位

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
臨床心理室 室長 田宮 裕子

2024 年度 近畿ブロック HIV 医療におけるカウンセリング研修会開催について

時下ますますご清勝のこととお慶び申し上げます。

今年度も大阪医療センター主催で、HIV 感染症医療におけるカウンセリングスキルの向上を目的として、事例検討による「HIV 医療におけるカウンセリング研修会」を下記の通り、開催することになりました。

つきましては、お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、5 年前より一部プログラムを変更しております。

また現在、事例提供者を募集しております。ご経験の多寡にかかわらず、ご希望される方は下記までご連絡下さい。心よりお待ち申し上げます。

日 時： 2024 年 12 月 6 日（金） 10:00～16:00（9:30～受付開始、12:00～13:00 昼休み）

会 場： 大阪医療センター 緊急災害医療棟 2 階 視聴覚室
<https://osaka.hosp.go.jp/goraiin/access/index.html>

開催目的： 1.HIV 感染症患者の心理面接事例についての検討を通して、カウンセリングスキルの向上を図る。
2.HIV 医療における心理臨床に関する互いの経験を共有し、知見を深める。

対 象： 近畿ブロック内の自治体・拠点病院・中核拠点病院等の臨床心理士、公認心理師、心理職、カウンセラー、もしくは HIV 感染症に関わるカウンセリングに関心のある臨床心理士、公認心理師、心理職、カウンセラー、臨床心理学専攻の大学院生。

※各施設から複数名ご参加いただくことも可能です。

研修形式： 事例検討会（午前・午後それぞれ 1 事例を検討）（感染対策の上、集合形式で実施します。）

プログラム 午前の部：10:00～12:00（2 時間）事例検討（参加者間で検討、コメンテーターなし）★
午後の部：13:00～16:00（3 時間）事例検討：コメンテーター 安村 直己 先生
（甲子園大学心理学部 教授）

★数回で終了したケースや中断ケース、派遣等で構造化面接が難しいケースなど、従来の 3 時間枠の事例検討にはちょっと出しにくい…と躊躇されていた方にももっと気軽に事例を出して頂けるよう、コメンテーターなしの 2 時間枠を設けました。臨床で日々奮闘する仲間同士、気軽に事例の悩み、迷い等も含め、経験を共有し、知恵を出し合い、学び合えたらと思います。

事例提供者：未定（午前・午後ともに **募集中**） …事例提供ご希望の方は、下記◎をご参照下さい。

◎事例提供のお願い◎

事例をご発表いただける方を募集しております。拠点病院等でのカウンセリングや、派遣カウンセリングなど、HIV 感染症患者の心理面接事例でしたらどのような事例でもかまいません。発表をご希望の方は、申込票にご記入の上、10月11日(金)までに、下記まで FAX、または同内容をもれなくご記入の上、e-mailにてお申込ください。折り返しご連絡差し上げます。

効果評価 終了後参加者に自記式アンケートを実施する。

申込方法 別紙(参加申込票)に必要事項をご記入の上、FAX (06-6943-6467) でご返送下さい。e-mailでのお申込みの場合は、同項目についてもれなくご記入の上、当院臨床心理室：担当森田 morita.mako.gt@mail.hosp.go.jp までお送りください。受け付けましたら、メールでお返事させていただきます。お申込み後 10 日経っても返信がない場合はお手数ですが、必ずお問合せ下さい。旅費等の支給はございません。何卒ご了承ください。

尚、本研修会は臨床心理士の継続研修ポイント(第2条(4)ワークショップ)の申請を予定しております。臨床心理士の方は、申込票に臨床心理士番号をご記入ください。(但し全日参加された方のみ)

定 員 30 名 (応募が多数の場合は、エイズ治療拠点病院や派遣カウンセラーを優先させていただきます。)

参加申込み締切 11月15日(金) (事例提供希望の締切は10月11日(金)) 必着

<申込みおよび問合せ先>

大阪医療センター 臨床心理室 森田眞子

FAX :06-6943-6467

e-mail :morita.mako.gt@mail.hosp.go.jp

電話:06-6942-1331(代)

〒540-0006 大阪府中央区法円坂 2-1-14